



Organized 8th. Feb. 1954 DISTRICT 2720

Rotary Club of Nakatsu

中津ロータリークラブ週報

2025~2026年度 第2720地区スローガン

みんなでつなぐ、育てる、ロータリーリレーションシップ

UNITE
FOR
GOODよいことの
ために
手を取りあおう

フランチェスコ・アレツォ 2025-2026 RI会長テーマ

第3419回 2025年10月8日 点鐘:12:30

本日の出席者	会員数	43名	欠席者	事前:西郡会員(東龍IAC)、松本会員(大分OliOli)
	出席対象者数	42名		林会員、細川会員、井上会員、柿内会員、松下会員、三重野会員、峯中会員、中
	出席数	30名		山会員、丹羽会員、高津会員、恒廣会員、山口会員
	出席率	71.43%		(12名)
3416回の修正	出席率	73.81%	マーク	林会員、西郡会員(東龍IAC)、峯中会員(Eクラブ)
	メークアップ	3名	アップ	
	修正率	80.95%	欠席者	細川会員、柿内会員、松下会員、三重野会員、村上会員、里見会員、高津会員、恒廣会員
来訪者	岡田百代氏 (㈱ネオマルス 常務取締役)		今週の歌	我等の生業

●会長の時間 [原岡会長]

10月4・5日、三光総合運動公園で「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」が開催され、松本委員長、三重野副委員長、池田幹事、東九州龍谷高校インターラクトの皆さんと参加しました。「リレー・フォー・ライフ」は1985年、米国の外科医ががん患者を励ますために24時間走り続け、寄付を募ったことから始まった運動で、がんと向き合う現実を象徴しています。会場には松永循環器病院、中津胃腸病院、宇佐高田医師会病院など医療関係者が多く、看護科をもつ高校のインターラクトクラブも活躍していました。雷雨のため開始が遅ましたが、テント内は総裁選の映像を見ながら熱気に包まれていました。インターラクトの先生方とも打ち合わせができ、10・11月の例会や12月のポリオコンサートについて話し合いました。ただ、先生方の多忙さから活動の継続に不安もあり、提唱クラブとして見守る責任を改めて感じています。

会員増強では「会員候補者名簿」の作成を進めており、従来の方法を見直し、新たな手法に挑戦しています。白石委員長が私の意を汲んで進めてくださっていますが、ご意見は私に直接お寄せください。本日は外部講師による卓話もあり、新たな気づきが得られることを期待しています。

最後に、10/31大分市ブリック・ブロックでの地区ポリオ撲滅チャリティーコンサート大分部門への参加をお願いいたします。

●幹事報告 [池田幹事]

- 週報受領 中津中央
- 回覧 ガバナー月信、山形南RC会報、11月例会出欠確認表、ロータリー財団・米山記念奨学会寄付確認表

●委員会報告

・理事指名委員会 [小倉委員長]

次年度理事の立候補者はまだいません。例会後、理事指名委員会を行います。

・会員増強委員会 [白石委員長]

会員候補者紹介カードご協力のお願い。

・R情報・公共イメージ委員会 [山本洋一郎会員]

「ロータリーの友」の紹介 6p/地域に貢献する酒蔵、22p/2026年国際大会

●ニコニコボックス

[瀧会員] 会員増強について。

[安藤会員] 訪韓します。

[川上会員] ゲスト歓迎します。

[川嶽眞人会員] 骨と関節の日について。

[山本洋一郎会員] 歌舞伎公演のご案内。

[中野会員] 訪韓します。



●ゲスト卓話

「地域で生まれた小さなモデルがつながりをつくる」

㈱ネオマルス 常務取締役 岡田百代氏

小さなモデルが生まれた瞬間

「人を軸に、現場の課題を仕組みで解く」

01 電気通信工事 × STELLA

個人的な現場見える化

02 ドローンプラットフォーム

地域連携から全国展開へ

03 GoSmart(どこでも社食)

社員食堂のデジタル変革

まちなか

小さく始め、地域で育て、全国へつなげる。地方企業だからこそ、できることです。

弊社で生まれた事業モデルの中で3つの事業モデルの紹介をいたします。
どのように地域から生まれ、つながりを創出していったかをご紹介します。

Rotary Club of Nakatsu

Organized 8th. Feb. 1954 DISTRICT 2720

電気通信工事から始まった変革

全国を行脚し、仕組みに賛同いただける工事会社の皆さんとパートナーネットワークを築くこと、そして実績を積るために、全国の工事案件をもつ企業との取引を広げること。

東京での営業活動を強化いたしました。

従業員満足度を高めたいがコストは抑えたいそんな悩みを解決します

従業員
好きなお店・食べたいお店・よく行くお店で食事補助を受け食事を楽しめる

飲食店
新しい顧客層の獲得と常連客による安定収入

企業
場所や人員を確保せずに福利厚生を柔軟に設計

電気通信工事から始まった変革

全国をつなぐ(発注元・業務窓口・工事業会社・職人さんを一元で結ぶ仕組み)

STELLA誕生 ~ 見える化の力

1 工事進捗
リアルタイムで把握

2 品質管理
標準化とチェック

3 一元管理
年間数万件を効率化

XROSS DRONE PLATFORM

農業分野への応用 季節仕事から通年事業へ

米・麦の散布

年に数回しか稼働できない季節限定の作業

露地野菜に着目(白ネギを実証→実装)

年間を通じて栽培、病害虫防除も頼る

持続可能な事業

毎月稼働できる安定収入の柱を創出

なぜ「白ネギ」だったのか



米や他の穀物は年に1~2回と少なく、ドローンによって稼働できる仕事を見つけるには世界がありました。

そこで私たちは、露地野菜の中でも「白ネギ」に注目しました。

【高頻度の散葉が必要】白ネギは年間を通じて出荷され、病害虫防除や剪定のために月間で数回の散葉が行われります。これにより、ドローンを支えることができます。

【持続可能なコスト構造】散葉回数の多さによるコスト負担を抑えるため、生産者と販売者の間で価格調整を行い、双方にとって納得できる運営モデルを構築しました。

【地域産業としての活性化】日本一白ネギ有数の主要作域であり、大部分でトヨタ自動車の工場として産業強化が進められていましたことから、社会的影響の面でより良い影響ができた

人を軸にした仕組みづくり

「人に投資し、仕組みで支える。」

電気通信工事× STELLA の教訓
異人の成功取りを見ると化し、ネットワークをつなぐ

ドローン・スマートフォームの成果
事業者が活躍できる舞台を増やし、利用者が使いやすい環境を整備する。
全国規模で百姓をつなげ仕組みへ
GoSmartの面積

食を通じて企業・農業者・飲食店をつなぐ

AIやクラウドは、人が活躍できる時間を増やすための道具です。
テクノロジーそのものが主でではありません。
主役はいつづけ「人」なのです。

●例会のご案内

10月29日(水) 夜例会(18:30~鬼太郎)

11月 5日(水) 祝日週休会

11月5日(水) 祝日週休

11月12日(水) 会員卓話
(口一多川一財団委員会) ポルトガル連



中津ロータリークラブ週報

国際ロータリー
第2720地区

事務局／〒871-0055 大分県中津市殿町1383-1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-6908 FAX 0979-22-6909

E-mail nakatsu.r.c@feel.ocn.ne.jp URL <https://www.nakatsu-rc.com>

每週水曜日

●2025-2026年度